

施策分析シート（令和3年度）

No1

施策名	伝統的文化の保存と継承	施策No	09-03	部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課
関連部課名				課長名	青谷 内線 3350
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市		
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進		

目的 区に伝わる有形・無形の文化財を、区民全体の財産として保存・継承するとともに、そのすばらしさを広く内外に周知し、未来へと伝える。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		30年度	元年度	2年度	
①	地域への愛着度	2.88	2.91	—	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	ふるさと文化館利用者数（人）	19,897	20,085	14,178	17,500	24,500	展示室観覧者＋伝統工芸ギャラリー
②	「伝統技術展」満足度（％）	82	86	—	85	100	令和2年度は中止
③	「伝統技術展」参加職人数（人）	65	65	—	50	66	令和2年度は中止
④	学校職人教室実施学校数（校）	24	24	20	24	24	全校で実施している（令和2年度はコロナ対応が可能な学校のみ実施）
⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	元年度	2年度	差額		元年度	2年度	差額
行政費用	給与関係費	59,941	58,051	▲ 1,890	地方税等	0	0
	物件費	71,035	47,048	▲ 23,987	国庫支出金	1,000	1,111
	維持補修費	38,006	4,049	▲ 33,957	都支支出金	5,388	2,905
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	16,254	9,094	▲ 7,160	使用料及び手数料	374	164
	減価償却費	40,228	40,414	186	その他	426	335
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,188	4,515
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,837	5,186	3,349	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 220,113	▲ 159,327
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	227,301	163,842	▲ 63,459	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 220,113	▲ 159,327
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	1,912	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	1,912	0	▲ 1,912	当期収支差額(e)+(h)	▲ 218,201	▲ 159,327	

貸借対照表	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	元年度	2年度	差額		元年度	2年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	流動負債	1,454	1,823	
	不納欠損引当金	0	0	還付未済金	0	0	
	その他の流動資産	0	0	特別区債	0	0	
固定資産	有形固定資産	607,686	567,272	▲ 40,414	賞与引当金	1,454	1,823
	土地	0	0	その他の流動負債	0	0	
	建物	1,492,706	1,492,706	0	固定負債	11,307	11,419
	建物減価償却累計額	▲ 885,020	▲ 925,434	▲ 40,414	特別区債	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	11,307	11,419
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	12,761	13,242
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	828,797	793,136	
その他の固定資産	233,872	239,106	5,234	正味財産の部合計	828,797	793,136	
資産の部合計	841,558	806,378	▲ 35,180	負債及び正味財産の部合計	841,558	806,378	

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用については、例年物件費の割合が高くなっている。主に、建物維持業務や光熱水費のほか、事業にかかる委託料等が占めているが、令和2年度は伝統技術展を中止したため、大幅に減少した。維持補修費も同様に減少しており、これは令和元年度に荒川遊園煉瓦塀耐震補強整備費36,740千円が掛かったためである。
- 行政収入では国庫支出金及び都支出金がある他、使用料及び手数料としてふるさと文化館入館料等、その他収入として有償頒布物代金がある。
- 貸借対照表に計上されている有形固定資産は「ふるさと文化館」に関するものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区では条例に基づき文化財の登録・指定を行い、文化財の保存・継承に努めている。特に、江戸時代から引き継がれてきた伝統工芸技術においては、多くの無形文化財（工芸技術）の保持者がいる。そうした伝統工芸技術に気軽に触れられる場として、無料の常設展示施設「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を平成29年5月に開設し、職人による実演等も定期的に行っている。</p> <p>○荒川ふるさと文化館では、区の歴史や文化財を紹介する企画展や館蔵資料展を実施している。また、単一自治体による日本最大規模の事業として「あらかわの伝統技術展」を開催し、伝統工芸技術の魅力を外に発信している。さらに、令和元年度には常設展示室に「奥の細道コーナー」を新設し、奥の細道矢立初めの地であることを区内外にPRした。</p> <p>○子どもたちに対しては、伝統工芸技術を体験できる「あらかわ職人道場」や、職人を学校に派遣し、技術の実演・解説・体験学習等を行う「あらかわ学校職人教室」を実施している。</p> <p>○伝統工芸技術の継承者育成を目的として、研修手当や指導料を助成する「伝統工芸技術継承者育成支援事業（荒川の匠育成事業）」を実施しているほか、修了者等の作品展など、若手職人の周知・PRのための支援を行っている。</p>
課題	<p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策下にあっても、区の伝統工芸技術や文化財の素晴らしさを区内外に広く浸透させ、未来に引き継ぐために、直接的な対面や観覧だけではなく、映像やホームページなどを活用した新たなPR方法を検討し、多くの方々に情報を提供することが重要である。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、展示や事業実施にあたっては飛沫・接触等による感染防止対策を行い、特に子どもたちに対しては、貴重な直接体験の機会を途絶えさせないようにする必要がある。</p> <p>○伝統工芸技術の修得には長い年月を要するため、伝統工芸技術者自身のたゆまぬ技術の向上・研鑽と併せ、研修中はもちろん、研修後においても長期間にわたり後継者を支援することが必要である。</p> <p>○伝統工芸技術や伝統工芸品の素晴らしさを多くの方々に知ってもらい、また、実際に使用して良さを感じてもらえるよう、伝統工芸技術保存会との協働により、「あらかわ伝統工芸ギャラリー」の更なる活用を考える必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、展示や事業にあたっては飛沫・接触等による感染防止対策を行って実施するとともに、映像やホームページなどを活用したPRを行う。</p> <p>○次代を担う子どもたちをはじめ区に住む人々が、伝統文化に対する理解を深め、区の文化財等を通じて郷土への愛着と誇りを持つことができるよう、荒川ふるさと文化館の収蔵資料や奥の細道コーナー、常設展や企画展の更なる充実を図り、荒川区の素晴らしさを区内外に積極的にPRする。</p> <p>○伝統工芸技術を未来に継承するため、伝統工芸に興味・関心があり、職人となる希望を持つ若者に対して、見習いとしての現地実習から本格的な修業、作品展の周知に至るまで、ステップに合わせた支援を継続して行う。</p> <p>○荒川ふるさと文化館の「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を拠点として、伝統工芸技術の実演や体験、伝統工芸品の展示などを行い、荒川区の伝統工芸の魅力を広く発信していく。併せて、伝統工芸品のPRや伝統工芸技術者の紹介などホームページ等ITを活用して、これまで以上に充実を図る。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
荒川ふるさと文化館管理 運営費	05-02-22	109,105	115,496	63,273	65,747	推進	推進	区の歴史・文化を学び、 親しむための拠点施設の運 営に関する事業であるた め、推進する。
荒川ふるさと文化館事業 推進費	05-02-23	16,792	15,952	7,041	5,828	継続	継続	区民が郷土の歴史や文化 に親しみ、知識を深めるた めに必要な事業であるた め、今後も講座・展示等を 継続して実施する。
文化財保護奨励費	05-02-25	59,244	15,448	52,034	9,927	重点的 に推進	重点的 に推進	区の貴重な有形・無形文 化財を次代に伝えるととも に、区の文化資源として活 用する事業であるため、重 点的に推進する。
江戸伝統技術	05-02-26	42,161	16,946	35,181	11,437	重点的 に推進	重点的 に推進	江戸時代から受け継がれ てきた荒川区の伝統工芸技 術とその保持者を、地域の 文化遺産として保存・継 承・活用するための事業で あり、重点的に推進してい く。
合 計		227,302	163,842	157,529	92,939			